

本書の特徴と使い方

本書はあくまで皮膚疾患初心者のための入門書であることを十分意識している。であるので、本書で皮膚疾患が100%習得できるとしたら大間違いであり、事実記載していないことのほうが多い。実際、学校保健の現場で、高頻度でみる皮膚疾患に対する疑問の答えを皮膚科専門医向けの分厚い成書に見出すにはあまりに労力がかかるものである。

そこで本書は、養護教諭が実際直面し、悩む皮膚疾患をセレクトし、平易な記載を試みた。さらに、全体としてコンパクトな本にするように心がけ、容易に読破していただけるようにした。とかく最近の看護学書や医学書は、見開き2ページぐらいでテーマごとにまとめたものが多い。無論、基礎知識があれば、疑問を調べるなどの用途にはそのほうが使いやすい。しかし、初心者は、まず皮膚疾患の流れを掴まねば興味の湧きようがないのが実情であろう。そこで、本書はあくまで読み物としての体

特徴と使い方 ①

特徴と使い方 ③

特徴と使い方 ④

よく出会う! No.3

虫刺され(痒疹)

鉄則!

虫刺され正式病名痒疹よ!

3 bare essentials

- 虫刺されは小さな皮膚の盛り上がりや水疱として始まり、掻破により比較的大型の皮疹となることがある。
- 比較的高レベルの副腎皮質ステロイド外用薬を用いる。
- 掻破しないための工夫や、冷却など生活指導が重要である。

分類は?

湿疹には、「急性痒疹」「亜急性痒疹」「多形性痒疹」といった分類がある。

「急性痒疹」は「虫刺され」が多く、年少者に多い。このため、「ストロフルス」という病名も存在する。個々の皮疹は似たような形を呈し、比較的単調である。無論、本人や保護者が虫体を目視している場合には診断は比較的容易である。

「亜急性痒疹」は、主に成人に生ずる。四肢伸側にみられることが多く、蕁麻疹に似た丘疹が出現し、通常掻破により色素沈着をきたす。

「多形性痒疹」とは高齢者に好発する痒疹であり、激しいかゆみを伴う。文字通り皮膚は紅斑、丘疹、苔癬化局面と多彩である(図2)。治療抵抗性である場合が多く、時に紫外線療法などを選択する場合がある。

図2 多形性痒疹



スキルアップ!

色素性痒疹

思春期の女性に好発する痒疹。蕁麻疹様の痒疹が出現した後、丘疹となり、その後、粗大痂状の色素沈着を残す。無理なダイエットなど、思春期女性には要注意の疾患である。

ムダ知識!!

色素性痒疹

本皮の病態として組織があるが、発症の病態、遺伝情報も面白い!と思われるかも知れない。そうではない。若い女性こそそう。ダイエットは意外に多い原因である! 本皮をみたら「ダイエットを止めた?」と訊くと大体正確であり、このとき組織に陥る。筆者も「一度おきかえるのみならぬ。悪化する!」などと書くこと。ついには「まじまじと見入ってしまっただけ。つい先日「遺伝情報」のダイエットプログラムを飲んで帰ってきた!」と訴える患者が居た。これが色素性痒疹であれば、ムダ知識の本末になるのであるが、本皮をみればわかる。個人的な経験で「ダイエットプログラム」に費やした額を聞いてみたが、驚くべきことに本書が〇〇円購入できる情報であった!!

◆慢性性痒疹

皮膚表面から隆起した炎疹(丘疹)で、上部に木こりがあるもの

◆紅斑

真皮乳頭層の血管拡張や出血によって起こる紅色の斑

◆皰疹

角層が厚化した結果、白色のくぼくぼした「フケ」様物質が付着した状態

特徴と使い方 ②

特徴と使い方 ⑤

裁にこだわった。本書で容易に学んでいただけるように工夫したのは以下の点である。ぜひ特徴を理解していただいたうえで、日々の臨床現場での外用療法スキルアップにお役立ていただきたい。

特徴と使い方 ① 現場のニーズに則した構成

現場を知る養護教諭の知恵と英知をいただき、とにかく知っておくべき皮膚疾患を順に記載する前代未聞の本となってしまった。通常、医学書は解剖などの総論から入り、各論に進んでいくのが王道である。しかし、本書はあえてそのタブーを破ってしまった。その結果、皮膚の解剖生理をさておき、いきなりキズの手当が巻頭にきてしまった。しかし、学校保健現場で、児童生徒が一番困るのは体育や部活中のキズややけどであろう。「学校保健は習うより慣れる！」の一面が確かに存在するので、まず実践から入り、理論を学ぶほうが効率がよいと考えた。

忙しい学校教育現場の教諭はなかなか長時間、小説を読むがごとく一気に医学書を読破するのは無理というものである。さらにその一分野である皮膚科学を精読するなど、逆立ちして地球一周するより困難である。そこで本書はあえて重要性の高い創傷処置をトップとしている。先頭から読んでいただくと、たとえ途中まで読んだとしても、大勢の学校保健現場の教諭が悩んでいる皮膚疾患の真実を習得することが可能である。つまり読んだ分だけスキルが上がることとなる。ただし、時間をとって通常の教科書のごとく順序立てて読みたい方のために、各章のナンバーは通常の教科書と逆に臨床症状から皮膚の基礎へと向かってふってあり、その場合にはお手数ながら、ページを前後し自らの興味とともに読みいただきたい。

特徴と使い方 ② あえて下手な俳句調の「鉄則」とイラストが巻頭に

これまでの“たった20項目シリーズ”でご好評を得た俳句が再登場した。日本人が古来よりこよなく愛す俳句と短歌。なかでも世界で一番短い詩とされる俳句は、5・7・5のリズムで日本人の美意識にマッチしている。今日まで脈々とこの文化が生きているということは、記憶に残りやすいという側面があるからである。そこで、本書ではご批判を顧みず俳句のルールを無視した下手な俳句を「鉄則」として巻頭に掲げ、イラストを入れ、音とビジュアルで記憶していただくよう工夫した。

さらに、文頭に3 bare essentialsという3つの重要事項を短文で記載し、ポイントを容易に理解いただけるようにした。

特徴と使い方 ③ たった20の章

あくまで入門編という考え方から、単元は20に厳選した。

特徴と使い方 4 薬剤はすべて一般名

前書では、薬剤名はわかりやすいように商品名で統一した。

特徴と使い方 5 ポイント、スキル、メモそして無駄知識

本文はできるだけ短くし、「ポイント」「スキル」「メモ」そして「エピソード」「ムダ知識!!」までを挿入した。人間が何か作業をする際には余裕があってこそ成功するものである。そこで本書はあえて「ムダ知識!!」などを入れることで、本に余裕を持たせた。きっと記憶が容易になると思われる。さらに、具体的な処方例も記載した。なぜ皮膚科医はこの疾患にその薬剤を出すのか、そのエッセンスを理解いただけるようにした。

特徴と使い方 6 できるだけ安価で

ぜひ大勢の方にお目通しいただき、皮膚疾患に興味を持っていただけるよう、お求めやすい金額にこだわりぬいた。結果、またもやGakkenの大サービス出版物となっており、これは本書担当の増田氏のたいなるご尽力の賜物である。本書により皮膚疾患、そして皮膚科学に一人でも多くの学校保健で活躍する先生方が興味を持っていただければ、この二人の存外の喜びである。

では、「学校保健の皮膚疾患」ワールドの入口へいざ出発！